

「Trick or Treat」

～いつもと違うあなたにこんばんは～

ぐびろが丘



編集長
本田 徳鷹 (医学部メディア部)

編集部
長崎大学医学部ぐびろが丘編集部
長崎医学同窓会
〒852-8523 長崎市坂本1丁目12番4号
☎095-848-5484
E-mail: ryojun-do@med.nagasaki-u.ac.jp

印刷
日本紙工印刷株式会社

10月28日、今年で第3回となる医学部主催のハロウィンパーティーが開催されました。1年間で唯一医学部全員が交流する場であり、かつ、いつもと大幅に違う姿で会えるとても貴重な会です。参加した人は思い出し、そうでない人は雰囲気を楽しむように、今年の優勝チームの1人にレポートしてもらいます☆

毎年誰に聞いても「楽しかった!!」と言われるハロウィンパーティー。今年こそは参加したいと思っていました。そんな中誘われたプロジェクト「小栗がなんだ!!俺らの荒川アンダーザブリッジ」大好きな漫画、ドラマだったので、間髪入れず仲間入りしました。計16人のメインキャラクターを揃えるため、そのキャラクターの風貌や性格に近い人達をスカウトしました。集まった16人でメーリスを作り、会議を開き、衣装の買い出し、作成した3週間：濃かったです。

そして迎えた当日。初めて全員が衣装を着て集合すると、想像以上のクオリティーの高さに、会場に行く前から皆のテンションは最高潮に！会場に向かう途中、道行く人が振り返り、指差され、写メを撮られ：それはまさにパレード中のミッキーの気分でした。「これって：優勝!!」

会場は様々な仮装でごった返していました。私達の仮装は、漫画のキャラクターをリアルに再現しているという強みがある反面、「集団ではない」との仮装かわかってもらえない」という弱みがありました。実際スーツのみのメンバーもおり、「バイト帰り?」と聞かれ、ひどく落ち込んでいました。が、そんなの完全無視。ビンゴゲームなどを楽しみながら、全員が思い思いに歩き回っていました。

準優勝のホイミスライムや3位のポケモントレーナーサトシをはじめ、たくさんすばらしい仮装があふれていました。しかし結果は、我が荒川アンダーザブリッジが見事優勝!!念願の一眼レフを手に入れました。この一眼レフがどうなったかはご想像におまかせします。

ハロウィンパーティーは先輩や後輩、同級生のいつもと違う姿が見られる貴重な機会です。来たことが無い人も、来年開催されるならばぜひ一緒に楽しみましょう。最後にになりましたが、このような企画を立ててくださった実行委員の方々、お疲れ様でした。本当に楽しい時間を過ごすことができました。来年のハロウィンではまたお互い新しく仮装して初めましてから始めましょうね。

◀3位 ポケモンマスターサトシ



◀2位 ホイミスライム

▼1位 荒川アンダーザブリッジ同



▼ハロウィンスタッフ一同



海外リサーチ組の声 ～出国前編～

☆質問内容☆

名前／研究テーマ

- 1. 志望動機
- 2. 楽しみにしていること
- 3. 不安

ベラルーシチーム

土屋 りみ／チェルノブイリ原発事故による放射能の影響と福島との比較 (仮) 風評被害について (仮)

- 1. もともと国際保健に興味があった。疫学的・科学的観点から、チェルノブイリと福島とを比較したいと思った。
- 2. 英語の上達、友達ができること!!
- 3. 1人で行くので、不安です (>_<)

オランダチーム

寺川 瞳子／腫瘍免疫 (仮)

- 1. 研究、医療を含め、日本とは違う物の向き合い方を知るまたとないチャンスだったから。
- 2. 勉学も向こうでの生活も全て。本場のクリスマスも楽しみ。
- 3. 英語と方向音痴と人見知り

小岩 智大／第一希望は大学側で都合がつかなかったため、まだ未定ですが、大学側では人体構造学系の配置を考慮していただけてるようです。

- 1. 留学経験がこれからの一助になると思ったため
- 2. 異文化に触れて生活・学習すること
- 3. 身の回りの生活全般

ドイツチーム

明永 征大／拒食症、ADHD (仮)

- 1. 留学して色々な人間の文化、価値観、医学へのアプローチを知って視野を広げたいのが1番の動機です。ドイツにしたのは、色々な理由から拒食症はずっと勉強したくて、ピュルツブルグは拒食症の研究が世界的に進歩しているため、この機会を活かして有意義に学び、研究したいと思いました。
- 2. 一番は、色々な人と友達を作ることです!
- 3. 何があっても、全部楽しみます!!

福本 将之／細菌学、ウイルス免疫学と短期間臨床病棟実習

- 1. 感染症の研究、施設、規模がピュルツブルク大学は大きく、有名であり、興味がある免疫学と感染症をハイレベルな環境で学べると思ったからです。英語、ドイツ語での研究に対しての不安より好奇心が強かったからです。将来の留学にも役立つとおもったから。
- 2. 日常会話の英語のマスターと、ドイツ語を覚えること。友達をたくさん作ることです。
- 3. 不安は英語力と研究室の役にたてるからです。

笹村明香里／まだ決まっていない

- 1. 既に日本での研究経験があるのでせっかくだから海外で研究してみたかったからです☆
- 2. リサーチと新たな出会いと旅行と旅行と…
- 3. ホームシック (T_T)

◎第63回西日本医科学生総合体育大会結果報告

テニス	男子 4位		女子 入賞なし	
ソフトテニス	男子 入賞なし (全医体にて準優勝)		女子 3位 (全医体にて3位)	
サッカー	入賞なし			
準硬式野球	ベスト8			
バスケットボール	男子 ベスト16		女子 入賞なし	
バレーボール	男子 入賞なし		女子 入賞なし	
バドミントン	男子 入賞なし		女子 団体入賞なし 個人 ダブルス 3位 浦壁・神田	
弓道	男子 18位		女子 5位	
柔道	入賞なし			
卓球	男子 入賞なし		女子 団体入賞なし 個人 シングルス 2位 有田美里 ダブルス 2位 花牟禮・有田	
ボート	団体 6位 舵手付きフォア 5位 鵬翼 新人シェルフォア 6位 雄図 シングルスカル 4位 菊田			
陸上	男子 団体入賞なし 個人 800m 3位 池田 圭 やり投げ 6位 白石斗士雄		女子 団体入賞なし 個人 200m 5位・400m 2位 樋口真帆 4×100mR 6位・4×400mR 5位 形山さおり・樋口真帆・山崎愛子・中里結花 円盤投げ4位・槍投げ6位 中里結花	
水泳	男子 団体10位 個人 400m自由形 1位 800m自由形 1位 岡田宗大		女子 団体5位 個人 200m自由形 2位・400m自由形 2位 赤松摩紀 50m平泳ぎ 5位・100m平泳ぎ 3位 塚田幸絵 100m平泳ぎ 4位 中村美穂 200mメドレーリレー 5位 長崎大学	
空手道	入賞なし			
剣道	男子団体 4位		女子団体ベスト8	
ラグビー	入賞なし			

左：中村 右：塚田

サークル紹介

柔道部

医学部柔道部盛衰記

医学部柔道部は明治時代に設立された歴史ある部。常時20名以上が所属し、全国優勝を含めた輝かしい戦績を残している。しかし、現在部員は2名。5年の古川と、4年主将の渡部だけ。かつての輝きは全くない。今年行った団体登録更新時に、事務から「団体だから3名以上じゃないと登録できない」と一旦は断られてしまう。皮膚科のタムシの講義では「長大には柔道部ないんだっけ」と教員にもその存在を無視される。体育館の柔道場は、剣道部の防具置き場と化している。油断しているうちにこの畳が剥がされ、全面剣道場になるのではないかと若干危惧している。いつからこうなったのかは知らないが、いつぞやの新入生が集まる生協パーティーで「強いやつしか要らない」と発言し、高飛車な勧誘をしてきたツケが回ったものと認識している。高校で語らした「おごれる人も久しからず」とはこのことだと思っ

ている。部員2名では練習ができないので、全学柔道部に所属して練習している。よく全学で練習しているという「すこいね」と言われるが、そんなことはない。全学柔道部も弱体化している。35歳という老体のこの私でも、なんとか練習をこなせているのだから。柔道の一般的な傾向は、中学・高校でしごきにしごかれて燃え尽き、大学に入ってからはやりたくない、というものだ。これは何も医学部だけでなく、全学でも共通らしい。逆に、大学に入ってからも柔道をしたという全学部員は、変わり者だらけだ。アニオタ、ゲーマー、ネラー、ロリコン、パチンカー。どちらかというと、三次元より二次元に興味がある者が多い。そのため、私を含め部員全員、恋愛は下手である。痛い恋愛しかしていない。なお、初心者が多いのも柔道部の特徴である。また、何か必ず留学生の部員がいる。今年度は、オランダと韓国から。しかも、女子！多分、柔道というスポーツを清々しい武道の象徴と誤解しているのではないかと思う。現実にはただただハードで汗臭い地味なスポーツにすぎないのだが。追々、彼らには柔道の現実を教えねばなるまい。ただ、正直ここまで面白くない。インナーショナルなやつらが集まっている部活はないのではないか。上下の隔てなく、言いたいことを言える雰囲気がある。ちなみに、私の35歳の誕生日、「四捨五入...おめでとございませう」というメールが部員から送られてきた。その日以降、事あるごとに「アラフォー」という言葉が飛び交っている。しかし、一度練習となると、皆表情が変わる。キトキト(富山弁で「生き生き」という意味)した目で、楽しんで柔道をしている。多分、心から柔道というスポーツが好きなんだろう。柔道という共通点が、かくも多様な人間関係を結んでいる。話を医学部柔道部に戻し、今年度の活動を報告する。九山は個人戦だけ。古川、渡部とも優勝を目標に挑戦したが、あつけない二回戦で敗退。他方、7人制の団体戦は組めないの

サークル紹介

熱帯医学研究会

こんにちは。私たちは熱帯医学研究会です。

私たちは熱帯医学研究会です。私たちが熱帯医学研究所のフレッシュルームで週一回活動している部活です。基本的に週に一回しか活動をしていないので他の部活との兼部が可能で、実際に部員のほとんどが他の文化部や運動部と兼部しています。熱帯医学研究会という名前からとても堅苦しい部活に感じられるかもしれませんが、そんなことはなくとてもゆったりとした雰囲気のある自由な部活です。熱帯医学研究会の活動は熱帯医学という分野に限らず、自分の興味のあることになんでも自由に取り組むことができます。まず部会で自分のやりたいことを話し合い、それに参加したいと思った人がその活動に自由に参加するという本当に簡単な所から始まります。

例えば昨年度では、「地域医療の現場を見たい」という意見が部会から出たので、地域医療に興味がある人達が集まって夏休みを利用して2泊3日で上五島へ研修旅行に行きました。上五島地域の基幹病院である上五島病院

医療改革を受けて病院機能を変えた有川医療センターと奈良尾病院、僻地医療を担う麻生病院といった上五島の医療施設を見学させてもらい、離島である上五島の病院間の連携体制や離島医療が抱える問題点・改善すべき点を実際に自分の目で見て学ぶことができた。学校の授業では教わることでできない地域医療の現場を知ることができました。また、上五島病院の院長先生である八坂先生とディスカッションをする機会もあって実際に離島という環境で働く先生の地域医療の考えはとても熱く将来地域医療に関わりたいと思っ

ています。私たちが熱帯医学研究会の活動を通して学んだことは、必ずしも熱帯に関わることではないかもしれませんが、少しでも興味のある方またこの部活でやりたいことのある方は是非一度部会の見学に来てくださいます。お待ちしております。

もちろん熱帯医学や国際保健についても学ぶ機会もたくさんあります。2010年に起こったハイチの大地震の際にハイチに向いて医療活動に行かれた熱帯医学研究所の山本太郎先生にその時のお話を聞き、ディスカッションをするという機会も過去にありました。

他にも、途上国の開発プロジェクトの際に「ICA」をはじめ多くの開発援助機関で用いられる計画立案・実施・モニタリング・評価を行う手法であるPCM (Project cycle management) 法について学ぶ勉強会の開催や、先輩の方々の中には自分たちで熱帯医学や国際保健についての勉強会を開いて理解を深め最終的にはベトナムやケニアに研修旅行に行った方もいます。熱帯医学研究所の研究に興味がある部員は熱帯医学研究所の先生を紹介してもらい実際に研究室を見学させてもらったこともあります。熱帯医学研究会には熱帯医学や国際保健を学ぶ環境があるのでやる気さえあれば何でもできると思います。

私たちは現在、熱帯についての勉強会を冬から来年の春にかけて行い、その後の夏の長期休暇を利用して熱帯医学研究所の海外の附属機関にて現地の見学を行いたいと考えています。

しかし、部活全体で何をしなければならぬかということはありません。



「地域医療の現場を見たい」という意見が部会から出たので、地域医療に興味がある人達が集まって夏休みを利用して2泊3日で上五島へ研修旅行に行きました。上五島地域の基幹病院である上五島病院

泳いだ海水浴場

上五島病院

観光に行った上五島の教会

サークル紹介

バスケットボール部

おかむーさん、フジタクさん、あつきーさん、えみーさんご卒業おめでとうございます。

先輩方と一緒にバスケットができて本当に幸せでした。

いつでも体育館でお待ちしています！



現在男子部部員11名、マネージャー4人、女子部部員11人でわいわい活動中。バスケットも酒も全力です！九山・西医体で良い成績を目指して毎日練習に励んでいます。応援よろしくお祈りします！！

《学生の声 in 目安箱》

今回は雑多に話題を拾ってみました。
扱って欲しい話題ある方！どしどし応募ください。
※イニシャルは編集部。数字はゲストです。

@実習中の5年生が昼食を取る場所に困っています！

E：えーこれは第3、第4講義室の改装終了に伴い3年生や4年生も病院食堂をいただいたのでいよいよポリクリ中の5年生が飯を食う場所がなくなったということですね。
Hi：ホント最近ないよね。みんなどこで食べてる？
S：アンゼ。(注：アンゼラス。病院食堂の名前) そんな言うほど不便？
Hi：ポリクリは昼休み長いし時間バラけるから意外と座れる。
A：じゃあもうよくな？
Hi：いや、下の学年がわざわざ向こう(注：大学食堂)に行ったりしてるから案外住み分けできてると言うんだよね。
A：だからいいじゃねーか！
Hi：あれ今何の話だっけ？(注：混乱)

Ho：結局この話題を選んだのは、こんな場所もあるよっていうことを紹介したいと思って。
A：どこがある？
S：スカポン(スカイラウンジぼんぺ。病院レストラン)とか最近行くけど。
E：(値段) 高くない？
S：ランチはそうでもないですよ。
Ho：あとコンビニで済ませるなら2階のテラスみたいなのとかもあるよね。
S：エスカレーターのぼって左のそこやる？結構隠れスポットっぽいよね。
Hi：空いてたら講義棟の2階のところもあるけど大体看護の実習生がすごい溜まって(笑)
Y：溜まるのはかまわないけど講義時間中はもう少し静かにしてほしい。3、4年は講義受けてるのに…。
Ni：飯食う場所…歯学部がアンゼにきたりするから逆に歯学部食堂もありじゃね。
E：あとパン屋の横とか。
Ho：そこは複数人で食べるにはちょっと不便かと…。

E：チュートリアル室って今使ってるの？
A：結構使ってますよ。5年生が寝てます(笑)でも皆がご飯食べるのに使うには部屋が小さい。
N：今まで何かの工事してるし、新しく食べる場所できるんじゃない？
A：大学病院に期待ということ。

@出席が厳しくなっている件について。

Ho：最近また厳しくなってるらしいよ。
Y：ICカードとかあるんだってね。
Hi：なんかもうイタチごっこだよ。
S：だがしかし！俺たちは逃げるのをやめない!!
N：俺たちは諦めない！
E：ばい菌と抗生剤みたいだな…。
Y：足りなくなってくると呼びだされるけど実際に呼ばれてから間に合うの？
Ho：休む人は大概計算して休んでるから(3分の2以上出席で本試験受験資格あり)大丈夫みたいだよ。
S：実はうつになっててこなくなってる人もいそうだけだね。
Y：呼び出しにはそういう人達を見つけるスクリーニング的な意味もあるんだろうね。
E：結局当人の事情だから介入しない方がいいと思うけど…。

A：最近医と社会とかで出席用紙にマス目あったりするらしいよ。200字以上感想書かないと出席にならないとか。
N：200字ってなんなの…そんなの余裕で次の時間に持ち越す自信がある。
Y：うちの学年は出席が厳しい講義とかできるだけ前に座るように言われる講義はメーリスが回るようになってるよ。
A：そんなに出席させたかったら全科目出席点つけるという話になってくる。
N：出席点30点とかあったら全出席する。
Ho：でもそれって出席するだけだよ。結局意味ないよね。面白い講義とか、ちょっと先生怖いけど聞いたらちゃんと大事なポイントがわかる講義もあるし、そういう講義は出席点なくてもみんな出席してる。そっちの方が全然いい。
E：穴埋めプリントとか最後に小テストとかあると眠り中必死こいて聞く(笑)
S：でもプリントが全部穴埋めだったりしたらそれ埋めるだけで全然理解してない。
Y：結局出るのは試験に受かるためっていうところはあるけど…。
Ho：この話はまとまりそうにないので次回へ持ち越しということで。

@SNS(ソーシャルネットワーキングサービス)について。

Y：SNSって何？
N：スーパーナチュラルサイエンス。
E：ありそうな言うてんじゃねーよ(笑)
Ho：mixiやFacebookやtwitterのことです。なんかやってる？
Y：やってない。
A：やってない。
Hi：アプリしかやってない。
S：アプリしかやってない。
E：何を話せばいいんだこれ。
Hi：意外とドクターもやってるらしいよ。新しいつながりを広げるきっかけにもなるし。
Ho：でもtwitterとか誰でも閲覧出来る場で個人の誹謗中傷が行われたり問題もあるみたいだよ。
Y：twitterは震災のときに生存情報や被害情報を周知させるのに一役買ったらしい。
Ho：やってないのに意外と知識あるな！
Y：でも俺アナログ派だから。メールより文通派なんだよな。
A：こいつ…何か勘違いしている…！

@TOEICが苦痛です。

Ho：2年間の英語の講義じゃ英語力落ちるよね。
Y：でも今の1年生って4年生までにTOEIC750点必須らしいよ。
E：マジで!？
S：俺確実に4年で放校だな。
E：1年のうちに取らないときついなあ…。
1：でも3回まで無料で受けられますよ。
Hi：そういえば今医学英語ってどんなことやってんの？
1：1年前期はあんまり医学関係なかったです(笑)
Ho：俺たちは医療系ドラマを使ったコミュニケーションや症例のポスター発表をやってるよ。強制的に英語を使わなきゃいけない環境が役に立ってる。
E：将来的には必要になってくるしなあ。
N：俺は逃げれるところまで逃げるけどな！
Hi：New England Journalが読めるようになるくらいにはなりたい。
Ho：後輩達は大変そうだけど頑張って欲しい。
Y：僕らみんな受験受かってるし基礎能力はあるんだ！
E：そのはずですね…。

◎1年生、目下最大の興味は何？

1：ええっと遊戯王ですかね…。
E：遊戯王!？
1：あ、いや勉強です勉強。二解剖の試験が怖くて…。
M：先輩達が僕らにアドバイスするときの形相が前期と違うのですごい危機感を感じています。
Ho：みんなそれだけ苦しめられてきたんだよ。
M：ホントあれが超えられるかどうかにかかっていますからね。実際留年とかするんですか？
E：……。←実際に留年した人)
Ho：ところでもう勉強してる？(インタビュー当時11月中旬)
1：まだしてないです……。
S：何か聞きたいこととかある？
1：なんで試験が天皇誕生日にあるのかわからないです。
S：それは疑問だな(笑)
Ho：それは解決できない疑問だ(笑)
A：二解剖からの返答をお待ちしております！

メディア部では様々な「学生の声」を募集中です。
学生生活で日々思っていること、ぶっちゃけてみませんか？
またインタビューや座談へ参加してみたいなどの要望も随時受け付けております！
ぜひ体育支援センター前の目安箱に投函、
もしくは ryojun-do@med.nagasaki-u.ac.jp までメールお願いします！
(文責：江原)

編集後記

入学試験形式の多様化。英語力の強化を図るカリキュラム。SNSを通じたドクター・学生間のコミュニケーション。色々と変わっていきつつあります。国試予備校の模試で長崎大学が国立医学部内実質最下位をマークするこの状況も今後変化していけばいいなと思います。最後のあとがきでした。(江原大輔)

今号は朋友実行委員の方々の協力もあり、更に学生新聞らしくなってきました。これからも自分たちを含んだ学生が馴染みやすい新聞作りに邁進していきたいと思っております。次回からは、メディア部の現6年生、私達の先輩でもある江原大輔さんが卒業されることとなり、世代交代となりますが、新しく増えたメンバー達とともに活動を活発に行っていきたいと思っておりますので、今後とも宜しくお願いいたします。追加の企画も随時募集しております。(本田徳鷹)

阪神淡路大震災がおきた時、私は6歳でした。地震発生その数時間前に、倒壊した高速道路の上を走る父の車の中からみた、血のように赤い月のことが今でも忘れられません。そして、揺れた家の中で目を覚ますと、母が私たち兄弟をかばって倒れていた。それから家族の愛を感じたことを覚えています。(山本直毅)

今回の震災の際は、私はオーストラリアにおり、前回のようには身近でその空気を味わうことはありませんでした。しかし、外から見ることで見えてきたものもあります。思っていたよりも多くの人が、愛を注いでくれていたのだな」ということです。未だ未熟で非力な身ではありますが、私もまた、そのような愛を少しでもひとに注げるよう、この年をおくっていかようと思っております。(山本直毅)

今回はハロウィンの記事に関して深く関わらせていただきましたが、まさかハロウィンが1面を飾るとは思ってなく、出来上がりを見て少しあせりました。記事に関わるものも慣れてきたところなので、今後よりよいものになるよう頑張っていきたいと思います。(川床健司)

今更ですが、あけましておめでとうございませう。今回の年末年始は、個人的には大学受験以来初めて勉強に追われた日々でした。たくさんの方が今、試験期間中だと思います。特に6年生の先輩方は国家試験直前、追い込みの時期だと思いますが、学生生活の全てを是非ぶつけてきてください。試験の話はすっかりになりましたが、今年も、昨年以上にたくさんの方と関わって、楽しくぐびろが丘を作りたいと思っておりますので、よろしくお祈りいたします!!(小嶋翔子)